

科目名	国語Ⅲ JapaneseⅢ			担当教員	長谷川 隆		
学 年	3年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	12120024	単位区分	履修単位
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。また、意見を書いたり発表したりしてもらうことがある。原則として週に1回漢字小テストを実施する。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	※全体ガイダンス(1) 1. 評論(13) (1) 聴くということ(鷲田清一) (2) 南の貧困/北の貧困(見田宗介) (3) ある〈共生〉の経験から(石原吉郎)			・聴くことの意義を理解する。(聴くということ) ・南の貧困と北の貧困の違いの原因を理解することができる。(南の貧困/北の貧困) ・生きるための共生があることを理解する。(ある〈共生〉の経験から) 学習・教育目標:(A)			
	[前期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 2. 表現(13) (1) 国語表現の実践 ア. 文体を統一 イ. 事実を客観的に ウ. 比喩 エ. 推敲 オ. 段落分け カ. 論旨をまとめる キ. 議論文			・正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解する。 学習・教育目標:(D)			
	前期末試験						
	※試験解説(1) 3. 小説(13) (1) こころ(夏目漱石)			・先生とKの行動を自分なりに納得できる。また、主題について多様な解釈が可能なことを理解する。(こころ) 学習・教育目標:(A)			
	[後期中間試験](2)						
※試験解説(1) 4. 古文(13) (1) 安養の尼の小袖(十訓抄) (2) 万葉の歌、王朝の歌			・内容を理解できる。(安養の尼の小袖) ・和歌の修辞・リズム・内容を理解する。(万葉の歌、王朝の歌) 学習・教育目標:(A)				
後期末試験							
試験返却(1)							
評価方法	1. 評価の内訳:漢字小テストの成績を10%、演習問題・読書ノート・夏休み課題文等の提出物を15%、定期試験を75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価への重みは、1~4のそれぞれについて、各25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ(1年)→国語Ⅱ(2年)→国語Ⅲ(3年)→文学特論Ⅰ(4年) →古典文学(専攻科2年)						
教 材	教科書:高等学校現代文改訂版 三省堂 柴田武他編 問題集:高等学校現代文[改訂版]課題ノート 三省堂 高等学校現代文編集委員会 教科書:新編古典 筑摩書房 鈴木日出男他編 漢 字:級別漢字学習4級~2級 東京法令出版 赤羽靖他 表 現:基礎からの国語表現の実践 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 辞 書:電子辞書等(国語辞典 古語辞典 漢和辞典)						
備 考	○オフィス・アワー 原則として毎週月曜日放課後 ※ 質問等があれば気軽に教員室まで						